順位 No. ライダー

マシン

1位 400 山本 鯨 (H) CRF450RW Honda Dream Racing Bells

3位 555 能塚 智寛 (H) CRF450RW Honda Dream Racing HAMMER

42

38

29

26

23

THE HEROES

JMX & WMX CATCH UP

IA1クラス/リザルト&ポイントランキング(暫定)

チーム

2位 110 渡辺 祐介 (Y) YZ450FM YAMAHA FACTORY RACING TEAM 3 / 2

注目ライダー直前インタビュー YAMAHA FACTORY RACING TEAM

IA1 #110 渡辺祐介選手 「表彰台が目標じゃない。



去年アメリカから戻ってIA2クラス3連勝。満を持して今年はIA1 にステップアップしたわけですが…。

自分としては450にスイッチするのが前提だったんです。アメリ カで走りたいという思いもありましたが、ファクトリーチームを 復活させるにあたって新しい体制でやってみないかと話を頂きま した。迷うことはなかったですね。

大事な準備期間中にコロナの問題が起きた。

まず450に慣れるために11月にスタンダードマシンに乗り始めて、 12月はかなり集中してテストを組んでもらいました。新年を迎え て気持ちも新たにさぁ始まるぞっていう時ですよね。コロナが広 がったのは

その間はどうしていたんですか?

医療機関に負担をかけるわけにはいかないので会社から練習もセ ーブするようにという通達があって、自粛期間中は当然みんな移 動もできないし、完全にストップですよね。先も見えないし、で もライダーとして練習しないわけにはいかないので、乗り方を忘 れないように近くのコースで8の字とか、本当に基本的なことだ けやって過ごしていました。

そんな状況下で迎えた開幕戦。ヒート1の追い上げもヒート2の山 本選手との攻防もIA1初レースとは思えないほど見応えがありま した。正直手応えを感じたのでは?

能塚君は同期ですが、他は成田さんとか山本さんとか強いライダ ーばかり。トップカテゴリーの厳しさを目の当たりにさせられま した。でもIA1で走ると決めた以上ルーキーだからという言い訳 はしたくなくて、1年目からチャンピオンを狙っていくことが自 分に課した目標なんです。3-2というリザルトは悪くないように見 えますが、ファクトリーライダーとして表彰台は立つのが当たり 前だし、勝てなかったことがすごく悔しかったですね。

スピードは十分だったと思うけど、まだ何かが足りない?

山本選手に並びかけることはあったけど、前に出させてはもらえ なかった。それでも開幕戦を走って自分に足りないところがはっ きりと分かったし、この1カ月は改善するためのトレーニングに しっかり取り組んで来ました。

ただ今回IA1は、特別採用された超スプリントの3ヒート制なんで すよね。今までと違う展開になりそうだけど…。

そうですね。たぶんスタート直後からバチバチのレースになると 思ってます。当然リスクも多くなりますよね。

ここSUGOをホームとするライダーとして、勝負のポイントはど の辺りになりそう?

たぶんスタートしたらそんなこと言ってられる状況じゃなくなる と思う。時間がない分、全てのコーナーで仕掛けていかないと 当たりもキツくなると思うし、お客さんにとっては一瞬も目が離 せない展開になると思ってます。そこを楽しんでもらえれば。

今回は選手紹介が復活すると聞いています。マイクはないから、 ここで地元のファンのみなさんにメッセージを!

サイン会もできないし、大変な状況の中せっかく来てもらって すごく感謝しなきゃいけないのにファンの人たちと触れ合うとこ もできなくて…。でもいつだって応援を感じて気合をもらってい ます。レース中もブルーの旗やTシャツは見逃しません。今回は とにかく全部が見どころの3ヒートを思い切り楽しんでください。 もちろんトリプルウィンを狙って頑張ります!!

コロナ渦に負けるな! レースの元気は東北から!!

開幕戦の土曜日が猛暑だったこと を忘れるくらいに一気に涼しくなった SUGO。秋本番を迎えての収穫作 業や本当ならあちこちお出かけしたく なる季節ですが、貴重な週末ここ SUGO に足を運んでくれたみなさん に、まずは心から感謝です。

コロナ自粛もちょっとづつムードが 変わってきましたよね。とは言え今回 も、観戦に際し色々と制約があります。 まず大きな声を出しての応援やパ ドックにライダーを訪ねて声をかけたり ということは基本的に NG となって います。今回お立ち台を使っての選 手紹介が行われますが、隣の方とは 距離を置いてくださいね。前回同様、 コースサイドでは腕や旗を振ったり、 拍手したり、心に秘めた熱い気持ち をライダーたちに送ってください。

というわけで応援して欲しい地元 ライダーと言えば、今シーズン限りで の現役引退を表明しているレジェンド 成田 亮選手 (#982/ ホンダ) が青森 県出身。成田選手と同じチームで IA1 クラス 2 年目のシーズンに挑む 横澤拓夢選手 (#322/ ホンダ) は岩 手県紫波郡在住のライダー。白石翔 也選手(#24/ヤマハ)は北海道出 身ですが、現在は仙台を拠点にして レース活動を続けています。左のイン タビューに登場してくれた渡辺祐介 選手 (#110/ヤマハ) は福島県相馬 市在住。伊藤翔太選手(#80/カワ サキ) は花巻市在住で東北選手権 チャンピオンを経て IA 昇格を果たし たライダーです

若手中心の IA2 クラスでは西條 悠人選手 (#47/カワサキ) が石巻市 在住の高校生ライダー。渡辺祐介選 手の弟渡辺 陵選手(#47/ カワサ キ) は当然福島県相馬、藤田 勇選 手(#68/ヤマハ)は福島県いわき市。 佐々木 麗選手 (#53/ヤマハ) は宮 城県黒川郡在住。ルーキー小笠原 大貴選手(#04/ヤマハ)は宮城出 身で現在は埼玉在住。阿部佑基選 手 (#08/ヤマハ)、阿部晴基選手 (#09/ヤマハ)の兄弟は、昨年大き な洪水被害のあった宮城県丸森町 在住のライダーです。

LMX や IB Open、キッズクラス やチャイルドクラスにも地元のライダー が大勢出場しています。公式プログ ラムのエントリーリストには出身地や チーム名が記載されているので、事 前にしっかりとゼッケンとマシンの色 をチェックして、コースサイドから地元 ライダーへの心のこもった応援をぜひ お願いします。



VOICE CONTROL レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

IA1 #80 伊藤翔太選手

働きながら自分の稼ぎでレースしてます。15位以内完走が目標です!!

IA1 #317 富田俊樹選手 体制が大きく変わって迎えた開幕戦。

色々考えたら緊張してしまって自分の走りができませんでした。 チームも協力してくれて、バイクの方向性や自分の走りを インターバルに修正することができたので 自分の走りに集中すれば勝てると思ってます。

IA1 #322 横澤拓夢選手

N.R.T.の2人で3ヒート全て表彰台に上がれるように頑張ります。

IA2 #01 中島漱也選手

開幕戦。A級に上がって初めてのレースは

自分の位置も30分という時間も、体力が持つかどうかもわからなくて、 結果はまとめられませんでしたが、自分の力は100%出せたと思う。 正直もう少し絡めると思っていたけど、トップのライダーは次元が違う。 メチャクチャ悔しかった分、自分の力を理解できたし展開もわかった。 同じコース。今回はスタート出て、ルーキーらしい走りを見せます。

IA2 #47 西條悠人選手

去年と比べたらタイム差はかなりトップに近付いたと思う。 前回は序盤のペースが悪くて抜かれたので 今回は最初からペースを上げて表彰台に上がります。

IA2 #50 渡辺 陵選手

先週の東北戦、大倉君と同タイムで走れたのでスタート決まれば行けると思う。 前回予選落ちの悔しさをぶつけて表彰台を狙います。

IA2 #931 平山 力選手

今回はスタートから前を走って初表彰台を狙います。 10代のライダーに負けないように頑張ります!!

第1戦SUGO大会 8月29-30日



天候は土曜日が晴れのち曇り。夜間 まとまった雨が降り、日曜は厚い雲が上 空を覆った。このためコースはドライ~ マディ~ベストコンディションへと変化。 土曜日は猛暑となったが、日曜は比較 的涼しい中でレースが行われた。

IA1クラス第1ヒートは好スタートを 決めた能塚をすぐにパスした山本が安 定したペースで後続を抑え開幕V。能 塚が単独2位。1周目7番手から追い上 げた渡辺が3位。後続の激しい順位争 いは、星野、大塚、富田、成田、小方の寿 運でフィニッシュした。

第2ヒートも山本がスタートからトッ プをキープ。成田との2番手争いに競り 勝った渡辺が中盤以降山本をピタリと マークするも逆転には至らず、山本が 開幕パーフェクトVで連覇に向け最高 のスタートを切る。渡辺が2位で総合も 2位。小方が3位表彰台を獲得した。



IA2クラスは、好スタートを決めた内 田が2番手に付けた浅井、終盤追い上 げてきた小川の追撃を退けクラス初V を達成。小川が2位。横山が1周目の転 倒で苦戦を強いられたのに対し、川上 が3位争いを制して初表彰台登壇を果

勝を分け合い1-2位の阿久根が総合 V。I MXは1周目に本田をパスしてトッ プに立った川井が17年関東大会以来 となる優勝をマークした。

宮城県/スポーツランドSUGO 天候:曇り時々雨



4位 10 小方 誠 Team Kawasaki R&D 5位 317 富田 俊樹 (Y) YZ450FM YAMAHA FACTORY RACING TEAM 6 6位 982 成田亮 (H) CRF450R Honda Dream Racing N.R.T. 7位 155 大塚 豪太 (H) CRF450R T.E.SPORT SHOWA 5 / 11 Bells Racing 8位 44 小鳥 唐平 (H) CRF450R 4 / 14 25 bLU cRU レーシングチーム鷹 9位 166 星野 優位 (Y) YZ450F 10位 12 小林 秀真 SRMマウンテンライダーズ 10 / 9 八尾カワサキ ANNEX 11/10 7 安原 志 12位 322 横澤 拓夢 (H) CRF450R 13/12 13位 793 池谷 優太 (KT) 450SX-F KTMうず潮レーシング福山 14位 38 道脇 右京 (H) CRF450R TEAM KOHSAKA with CARVEK 12 / 13 15位 27 大石 一斗 RFAL RIDF with Alphathree 15 / 1516位 23 鈴木 涼太 (H) CRF450R STW YSP浜北大橋 with 鈴木兄弟商会 16 / 17 19 宗本 駿真 (Y) YZ450F SP忠男広島 18/16 18位 17 道脇 白龍 (H) CRF450R **TEAM KOHSAKA** 17/19 19位 29 沼田 誠司 グリーンクラブ JUDGMENT 21/18 20位 26 中村 泰介 (Y) YZ450F RT-MIKURA with ALL-ONE 19/20 21位 24 白石 翔也 (Y) YZ450F Y'sレーシング 20 / dnf

7位 46 鴨田 翔 9位

した。

第2ヒートは確実にスタートを決めた 横山が後続を突き放して今季初V。ヒ ート1転倒でリタイアに終わった大倉が 2位。大城が3位表彰台を獲得した。

IB Openクラスは阿久根と福村が優

順位 No. ライダー チーム Rd.1SUGO Total マシン 1 横山 遙希 (K) KX250F-SR Team Kawasaki R&D 2位 39 内田 篤基 SRMマウンテンライダーズ 40 JII 上 龍司 (Y) Y7250F 藤原タイヤセンター グリーンクラブ ピュアテックレーシング 35 4位 912 小川孝平 (K) KX250F 5位 36 大城 魁之輔 (H) CRF250R Bells Racing bLU cRU フライングドルフィン サイセイ 4 / 6 33 6位 41 浅井 亮太 (Y) YZ250F Team Power Band 16/4 23 31 大倉 由揮 (Y) YZ250F **bLU cRU TEAM KOH-Z** 20 53 佐々木 麗 (Y) YZ250F Y's Racing with 東北トラス 13/9 10位 931 平山力 (K) KX250F グリーングラブRC弘前&TSF 12/10 20 11位 47 西條 悠人 (K) KX250F ピュアテックレーシング 10 / 12 20 9 / 14 19 12位 42 大木 汰一 (K) KX250F ライムグリーンRT **GOSHI** Racing 13位 954 石浦 諒 (H) CRF250R 11 / 13 14位 60 池田 凌 SRMマウンテンライダーズ 14/11 Team Kawasaki R&D 15位 888 勝谷 武史 (K) KX250F 6 / dnf 16位 01 中島 漱也 (Y) YZ250F YAMALUBE RACING TEAM with レーシングチーム鷹 8 / 20 グリーンクラブ京都ボブキャット 17位 58 土屋 元希 (K) KX250F 15 / 16 マウンテンライダーズ 18位 63 真野 凌輔 18 / 15 八尾カワサキ ANNEX CLUB 79 上岡 聖志朗 (K) KX250F dnf/17 20位 54 町田 旺郷 (Y) YZ250F レーシングチーム鷹 17/26 65 齋藤 健太 SRF関東オートスポーツ清水 20/18 22位 57 西垣 魁星 (Y) YZ250F YSP浜北大橋レーシング /19 23位 43 森優介 (H) CRF250R Team ITOMO 19/dnf

IA2クラス/リザルト&ポイントランキング(暫定)

1位 3 川井 麻央 (H) 25、2位 1 本田 七海 (Y) 22、3位 5 小野 彩華 (H) 20、4位 4 久保まな (Hu) 18、5位 6 川井 実乃里 (S) 16 6位 14 勝股 七海 (H) 15、7位 、13 伊藤 悠利 (Y) 14、8位 18 楠本 菜月(Hu) 13、9位 12 穂苅 愛香 (Y) 12、10位 9 木下 宙 (Y) 11

「from DIRT to DIRT(泥んこ取材記) 「成田 亮選手のフォトマガジン鋭意制作中!」

開幕号で成田選手のフォトブック制作しますと書いて、真っ先に成田選手の地元ファンのみなさんにお披露目したかったんですが…まだ出来上がっていません。ごめんなさい。去年秋の台風で床 上浸水してしまった福島県いわき市の仕事場。なんとか頑張ってみたんですが、水に浸かったフィ ルムはもちろんのこと、デジタルデータの復旧にも難航して素材を集め切ることが出来ませんでした。

今年の全日本はたった 4 戦しかありませんが、なんとかシーズン中に完成させます。どうかもう しばらくお待ちください。代わりにと言ってはなんですが、これまで HYPER MXING でお届けした画像の中から、成田選手の分だけピックアップしてみました。 右の QR コードを読み取ってみてください。 進捗状況はホームページや SNS でお知 らせします。興味のある方は「MXING」で検索してみてくださいね。











